

令和7年度研究指導計画概要－研究指導の方法・スケジュール等

経済・ビジネス研究科 経済学専攻〔博士前期課程〕※（ ）の時期は9月入学生対応

時期		項目	内容・目的等
入学前		研究指導教員決定	以下の内容により面接を実施する (1) 研究希望領域や研究計画案の確認 (2) 研究科委員会にて入学試験可否と指導教員の決定
1 年 次	4月上旬 (9月上旬)	研究科主催ガイダンス	教員紹介及び学修や事務手続き等の説明
		個別履修指導	ガイダンス後、指導教員による履修指導・履修相談
	1年次に1年間を通じて指導教員が主としてする指導		(1) 研究テーマや研究の進行、論文執筆方法の確認 (2) 指導教員による指導は、授業時間外でも、院生の研究状況等により随時実施
	7月～9月 (11月～1月)	修士論文等テーマ決定	指導教員と意見交換を重ねテーマを決定
2 年 次	4月上旬 (9月上旬)	個別履修指導	(1) 指導教員による履修指導・履修相談 (2) 課程修了に向けたスケジュール等の確認
	2年次に1年間を通じて指導教員が主としてする指導		(1) 指導教員担当科目を履修し、修士論文等の完成に向けて研究活動をさらに進行させる (2) 指導教員による指導は、授業時間外でも、院生の研究状況等により随時実施
	10月下旬 (5月下旬)	修士論文等中間報告会	研究の進捗状況を発表（公開） (1) 経済学専攻の教員及び1年次生参加 (2) 20分の発表、10分の質疑応答を行う (3) その中で、最終的な改善等の指摘を受ける
	1月上旬 (6月上旬)	修士論文等の提出	定められた期間に、修士論文等及び学位申請書類を大学院事務室に提出
	1月中旬 (6月中旬)	修士論文等の受理	(1) 1月開催の経済・ビジネス研究科委員会にて論文受理 (2) 学位審査組織の決定（主査1人、副査2人） ※主査は指導教員が務める
	1月下旬 (6月下旬)	修士論文等最終試験	(1) 最終試験は口頭試問により実施 (2) 可否の決定は、主査及び副査の合議により決定
	2月中旬 (7月中旬)	可否決定	経済・ビジネス研究科委員会により審議し、可否決定 (※「学位の授与方針」に示した項目に基づき可否を決定する)

※上記は予定であり、時期や内容を変更する場合もある。

令和7年度研究指導計画概要－研究指導の方法・スケジュール等

経済・ビジネス研究科 現代ビジネス専攻 [博士前期課程] ※ () の時期は9月入学生対応

時期		項目	内容・目的等
入学前		研究指導教員決定	以下の内容により面接を実施する (1) 研究希望領域や研究計画案の確認 (2) 研究科委員会にて入学試験可否と指導教員の決定
1 年 次	4月上旬 (9月上旬)	研究科主催ガイダンス	教員紹介及び学修や事務手続き等の説明
		個別履修指導	ガイダンス後、指導教員による履修指導・履修相談
	1年次に1年間を通じて指導教員が主としてする指導		(1) 研究テーマや研究の進行、論文執筆方法の確認 (2) 指導教員による指導は、授業時間外でも、院生の研究状況等により随時実施
	7月～9月 (11月～1月)	修士論文等テーマ決定	指導教員と意見交換を重ねテーマを決定
2 年 次	4月上旬 (9月上旬)	個別履修指導	(1) 指導教員による履修指導・履修相談 (2) 課程修了に向けたスケジュール等の確認
	2年次に1年間を通じて指導教員が主としてする指導		(1) 指導教員担当科目を履修し、修士論文等の完成に向けて研究活動をさらに進行させる (2) 指導教員による指導は、授業時間外でも、院生の研究状況等により随時実施
	10月下旬 (5月下旬)	修士論文等中間報告会	研究の進捗状況を発表（公開） (1) 現代ビジネス専攻の教員及び1年次生参加 (2) 20分の発表、10分の質疑応答を行う (3) その中で、最終的な改善等の指摘を受ける
	1月上旬 (6月上旬)	修士論文等の提出	定められた期間に、修士論文等及び学位申請書類を大学院事務室に提出
	1月中旬 (6月中旬)	修士論文等の受理	(1) 1月開催の経済・ビジネス研究科委員会にて論文受理 (2) 学位審査組織の決定（主査1人、副査2人） ※主査は指導教員が務める
	1月下旬 (6月下旬)	修士論文等最終試験	(1) 最終試験は口頭試問により実施 (2) 可否の決定は、主査及び副査の合議により決定
	2月中旬 (7月中旬)	可否決定	経済・ビジネス研究科委員会により審議し、可否決定 (※「学位の授与方針」に示した項目に基づき可否を決定する)

※上記は予定であり、時期や内容を変更する場合もある。